

特集

平成13年社会生活基本調査の結果について

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに行われ、今回で6回目となります。

調査は、平成13年10月に実施され、調査の対象は、全国の世帯から無作為に選定した約7万7,000世帯で、その世帯にふだん住んでいる10歳以上の世帯員約20万人です。

このほど公表された平成13年調査より、石川県の結果について紹介します。

1 石川県民の時間の使い方

「仕事」時間が長い石川県

15歳以上の人口について、週全体を平均した1日の生活時間を全国と比較すると、石川県は「1次活動（睡眠、食事など生理的に必要な活動のこと）」が10時間27分で全国43位と短く、「2次活動（仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動のこと）」は7時間17分で2位、「3次活動（余暇活動など各人の自由時間における活動）」は、6時間16分で41位となっています。（表1）

また、全国平均の生活時間との差を比べても「2次活動」のみが長いということがわかり、石川県民は「1次活動」「3次活動」といったある程度自分でコントロールできる活動が短い分、「2次活動」という仕事の要素の濃い活動が長いという特徴がわかります。（図1）

次に、男女別にみると「1次活動」「2次活動」については女性、「3次活動」については男性の方が長くなっており、男性の方が自由に使える時間が長いことがわかります。（図2）

表1 石川県民の生活時間（15歳以上、週平均）

行動の種類	単位：時間 分		
	石川県	全国	順位
1次活動	10.27	10.34	43
睡眠	7.44	7.42	29
身の回りの用事	1.07	1.13	44
食事	1.35	1.39	35
2次活動	7.17	7.00	2
通勤・通学	0.25	0.31	20
仕事	4.16	3.52	3
学業	0.23	0.24	28
家事	1.32	1.30	18
介護・看護	0.03	0.03	26
育児	0.14	0.13	10
買い物	0.23	0.25	20
3次活動	6.16	6.26	41
移動（通勤・通学を除く）	0.31	0.33	24
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.29	2.34	35
休養・くつろぎ	1.16	1.19	42
学習・研究（学業以外）	0.10	0.12	24
趣味・娯楽	0.40	0.42	21
スポーツ	0.10	0.11	26
社会的活動	0.06	0.05	6
交際・付き合い	0.24	0.27	31
受診・療養	0.11	0.09	4
その他	0.20	0.16	4

図1 石川県と全国の比較（石川県 - 全国）

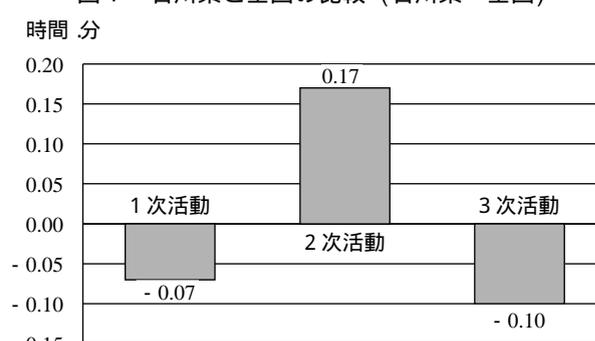
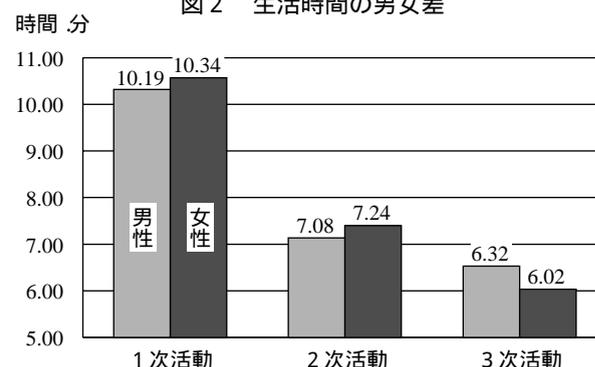


図2 生活時間の男女差



2 石川県民の生活の変化

10年間で「仕事」「学業」の時間が減少

15歳以上の人口について、過去10年の生活時間の变化を比較すると、「2次活動」が10年前に比べ42分減少し、「1次活動」が14分、「3次活動」は27分増加しています。(図3)

最も変化の量が多い「2次活動」の内訳をみると、「仕事」が31分減少、「学業」は11分減少と10年間で大きく減少してきています。(表2)

全国的にみても同様の傾向となっています。

図3 1日の生活時間の変動(男女計、週平均)

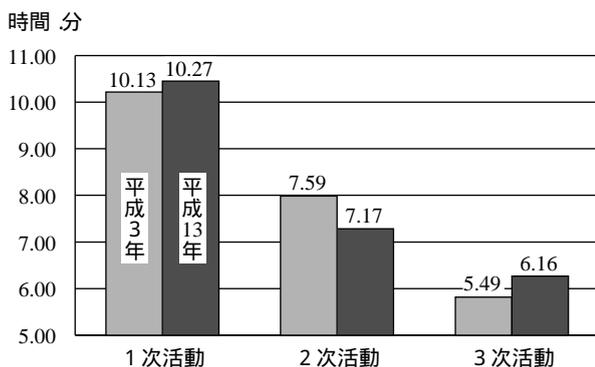


表2 2次活動への時間配分

単位：時間 分

行動の種類	平成3年	平成13年	増 減
2次活動	7.59	7.17	- 0.42
通勤・通学	0.27	0.25	- 0.02
仕事	4.47	4.16	- 0.31
学業	0.34	0.23	- 0.11
家事	1.33	1.32	- 0.01
介護・看護	0.04	0.03	- 0.01
育児	0.15	0.14	- 0.01
買い物	0.19	0.23	0.04

3 文化活動の盛んな石川県民

「邦楽」「華道」「茶道」など伝統的な趣味・娯楽が人気

10歳以上の「趣味・娯楽」の行動者率(過去1年間に当該行動をした人の割合)をみると、「趣味としての読書」が42.9%で最も大きく、次いで、「映画鑑賞」37.2%、「カラオケ」36.9%となっています。(図4)

全国での順位は、「邦楽(日本古来の音楽)」が1位、「華道」が3位、「茶道」が5位と行動者の低い項目ではありますが、他県に比べ伝統的な日本の文化を趣味・娯楽として盛んに行っていることがわかります。また、他の美術・音楽関係の活動も盛んに行われています。

図4 「趣味・娯楽」の行動者率

